

# 平成30年度予算見積調書

課室名：都市整備政策課  
 担当名：新都心事業調整担当  
 内線：5655 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業									
B3	さいたま新都心の街魅力アップ推進事業費			一般会計	土木費	都市計画費	都市計画総務費	さいたま新都心管理事業費									
事業期間	平成29年度～平成31年度	根拠法令	さいたま新都心まちづくり推進協定		宣言項目	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化										
					分野施策	061352	快適で魅力あふれるまちづくり										
1 事業概要				5 事業説明													
<p>バリアフリーの街であるさいたま新都心は平成12年5月の街開き以来17年が経過した。東京2020オリンピック競技大会のバスケットボール競技がさいたまスーパーアリーナで開催され、国内外から来訪者の増加が見込まれる中、多言語対応や音声案内等の一層の充実が求められる。</p> <p>また、周辺施設と回遊ルートの設定等の連携を図り、地域の魅力アップを推進する。</p> <p>(1) さいたま新都心の街魅力アップ推進事業費 11,880千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア さいたま新都心の街魅力アップ推進事業費 11,880千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さいたま新都心エリアにおける案内表示の整備</li> </ul> <p>(2) 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>けやきひろば及びさいたまスーパーアリーナの案内表示（デジタルサイネージ、多言語対応、案内表示板等）を東京2020オリンピック前までに整備する。</li> <li>さいたま新都心エリアの案内表示については、さいたま新都心まちづくり推進協議会で協議し、地区一体で統一した表示に整備する。</li> <li>年度別計画 (単位：千円)</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>平成30年度</td> <td>平成31年度</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>5,210</td> <td>11,880</td> <td>110,230</td> <td>127,320</td> </tr> </table> <p>(3) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初めてさいたま新都心を訪れる国内外からのお客さまや障害をお持ちの方が迷わずにエリア内を移動でき、目的の施設へスムーズに到着できるようになる。</li> <li>案内の充実の一環としてWi-Fiやデジタルサイネージを導入することにより、氷川参道・氷川神社・大宮公園など周辺の観光情報の提供が容易になり、スーパーアリーナの来訪者が県内を回遊する確率が高まる。</li> </ul> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県、さいたま市、地元企業、地元住民等で構成されているまちづくり推進協議会を中心に、さいたま新都心のにぎわい創出に取り組んでいる。</li> </ul>						平成29年度	平成30年度	平成31年度	計	5,210	11,880	110,230	127,320
平成29年度	平成30年度	平成31年度	計														
5,210	11,880	110,230	127,320														
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)																	
3 地方財政措置の状況 なし																	
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円																	
				財 源 内 訳				一般財源	前年との対比								
予算額		県 債															
決定額	11,880	11,000						880	6,670								
前年額	5,210							5,210									